



# 港まち室蘭 夏の思い出

天候に恵まれなかった「むろらん港まつり」と「白鳥大橋ウォーク・室蘭トライアスロン大会」や、連続6日間の夏日が続いた8月上旬など、多彩なイベントが開催され、市民の思い出が詰まった、港まち室蘭の「夏」を写真で振り返ります。



8月1日～3日

# むろらん港まつり

雨の合間に開催された室蘭ねりこみと、港ふれあい広場は、夏祭りを楽しむ若者や家族連れなどにぎわった。



雨に泣いた3日間。花火大会をはじめ、総参加市民おどりやよさこいソーラン・イン・室蘭など、天候に恵まれず中止になったイベントもあった。時折小雨が降る中、決行された港まつりの目玉、室蘭ねりこみには、威勢の良い担ぎ手と山車を見ようと、中島町の沿道に多くの見物客が詰め掛けた。

メイン会場の港ふれあい広場は、昨年の入江運動公園駐車場からフェリーターミナル横の耐震岸壁へと移転。駐車場の近さやロケーションの良さも相まって、ステージイベントや露店を楽しむ多くの客でにぎわいをみせた。



8月3日

白鳥大橋開通10周年記念イベント

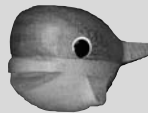
白鳥大橋ウオーク

室蘭トライアスロン大会

白鳥大橋を舞台に開催。明け方まで降っていた雨はやみ、一時的に雲のすき間から青空が顔をのぞかせた。



9年ぶり3回目の開催となるウオークには約4千人が参加。普段は車であつという間に通り過ぎてしまう道路をゆっくり歩き、まちのシンボル白鳥大橋からの眺めを堪能した。場内整理や警備などを担った約600人の市民ボランティアのほか、鯨の手作りキーホルダーやカップルが互いの手首を結んで橋を渡る赤いリボンが配布されるなど、多くの市民の手によって盛り上げられた。



トライアスロンには、一般・リレーの部で192人の選手が、スイム（水泳）、ラン（マラソン）、バイク（自転車）の3種目に挑戦。ジュニアの部には37人が参加。父母などの声援を受けながら全力を出し切った。イベント終盤には大雨に見舞われたが、プログラムを無事終えることができた。



# 夏の思い出

7月下旬～8月上旬

# 夏のトピックス

8月7日と8日は今季最高の28.1度を記録。市内は真夏の暑さに見舞われた。4日から9日までの6日間は、連続の夏日となった。



電信浜

### 海水浴

電信浜児童遊泳場では7月26日から8月12日までの開設期間中に約2,800人、イタンギ浜海水浴場は7月26日から8月11日までに約16,500人が波と戯れた。



イタンギ浜

### 親子でヨット・イン・エンルム



エンルムマリーナで開催された、ヨットの乗船体験。室蘭港の風を受けて親子で小型ヨットを操縦した。  
(7月26日)

### FMびゅー開局



開局日の生放送に出演する新宮市長

コミュニティ放送局が開局。FMの84.2メガヘルツで、交通やイベントなど、地域に密着した情報を提供する。  
(8月10日)